



ノダグループは、木を活用した心地よい空間づくりによって社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

代表取締役社長
野田 励

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第87期第2四半期連結累計期間(2023年12月~2024年5月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

2024年8月

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化、不安定な為替相場、資源・エネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築費高騰や物価上昇、職人不足などの影響から持家を中心に住宅需要の低迷が続いており、当第2四半期連結累計期間の新設住宅着工は、前年同期比で総戸数4.1%減、床面積6.6%減となりました。また、住宅着工の不振などを受け、合板の荷動きも低調に推移しており、引き続き各社で生産量や入荷量の調整が行われました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、労働生産性の向上や固定費のコントロール、原材料の見直し、配送効率の向上など各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、昨年4月に全面リニューアルした内装建材シリーズ「カナエル」の定着・拡販に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、市場動向や製造・輸入原価に即した販売価格の設定と適正な在庫水準の維持をはかりながら、シェアの確保に努めました。しかし、住宅の着工減が響き販売量が伸び悩みなか、原材料・副資材コストは引き続き高水準で推移し、さらに、物流コストの上昇や国産針葉樹合板の販売価格低下なども利益の圧迫要因となり、収益性は低下いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高32,962百万円(前年同期比6.7%減)、営業利益660百万円(同74.4%減)、経常利益692百万円(同74.3%

減)となりました。また、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失1,645百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,565百万円)となりました。

●セグメント状況●

<住宅建材事業>

内装建材シリーズ「カナエル」をてこに、意匠性や省施工など多様なニーズに応える高付加価値製品の提案活動を継続することによって、新築戸建市場における需要の掘り起こしに取り組みるとともに、充実したラインナップの防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」等の拡販にも引き続き注力することによって、比較的堅調な貸家市場や、リフォーム・リノベーション市場、高齢者施設や公共・商業施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進し、シェアの確保に努めました。

MDFについては、相次ぐ地震災害や国・自治体によるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及促進を踏まえ、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案強化を引き続き推進いたしました。

しかしながら、住宅の着工減などの影響から建材・MDF製品全般について販売量が回復しないなか、生産調整の継続や高水準で推移する原材料・副資材価格などが利益を圧迫いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は19,613百万円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益は121百万円(同31.4%減)となりました。

<合板事業>

合板については、国産・輸入いずれも需要の低迷により販売量が低水準で推移する厳しい状況が続きました。

国産針葉樹合板は、販売価格が値下がり傾向で推移するなか、依然として国内出荷量は低迷しており、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、前期において港頭在庫の調整が進んだことから入荷量に持ち直しの動きが見られたものの、国内需要は依然として弱含みであり、販売価格は緩やかな値下がり傾向で推移いたしました。また、円安により仕入コストが高止まりとなる厳しい状況が続きました。

この結果、合板事業の売上高は13,349百万円(前年同期比8.3%減)、セグメント利益は1,450百万円(同56.2%減)となりました。

配当について

当期の中間配当金につきましては、これらの業績や配当の基本方針等を総合的に勘案し、1株につき22円50銭(前期の中間配当金に比べ、7円50銭の減配)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第87期第2四半期 営業報告書

株式会社ノダ

証券コード: 7879

ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

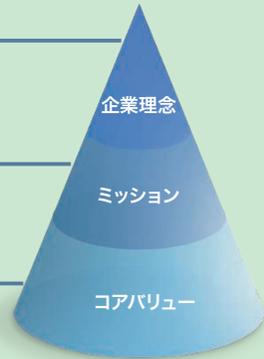
主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】

社会に果たすべき使命・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】

理念実現のための共通の価値観
共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



【ビジョン2030実現のための経営戦略】



【理念実現のための基本姿勢】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

～木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献～

私たちは、自らの事業を通じて、SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、グループをあげて取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを

目標 11
「住み続けられるまちづくりを」
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任

目標 12
「つくる責任つかう責任」
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を

目標 13
「気候変動に具体的な対策を」
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などグリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう

目標 15
「陸の豊かさも守ろう」
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDF(構造用ハイベストウッド)により、より快適な住まいを実現できます。

地震に強い
壁倍率
4.0倍



木質チップを木材繊維へ エコ素材MDF 構造用ハイベストウッド(MDF) 施工例

2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。



国産針葉樹合板

3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果もたらされます。国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。



適度な光が差し込み木々の健全な生育環境が保たれます

4. 安全に暮らせるまちづくり

合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を、防潮堤の資材として海岸防災林の再生に活用いただくことで、自然災害のリスクを低減させ、より安全に暮らせるまちづくりに貢献しています。



防潮堤 芯材使用状況



～HBW（構造用ハイベストウッド）～

一生を預ける家を本気で守りたい、その想いで作り上げた耐力面材です。

3つの特徴

①繰り返地震に強い



②木質系面材No.1の

透湿性能

湿気を通し、腐食やシロアリにも高耐性

HBWの湿気を逃す力



当社HP
(HBWページ)



③耐震性能シミュレーション

wallstatにも対応

希望の間取りで耐震性をシミュレーション



当社HP
(耐震シミュレーション)



～耐震性能見える化協会様とセミナーを実施～

高い耐震性能を持つHBWの認知度をさらに高めるため、全国各地でコラボセミナーを開催。

今後も地震に強い安心・安全な住まいづくりに貢献します。



～自分らしい「住まい」をCanaeru～

「より快適で、オリジナリティのある住まいを追求したい」というご要望に応えられる内装建材シリーズ。多様化するライフスタイルに合わせたテクスチャーとカラーで、あなたらしい空間をご提案します。



さまざまなライフスタイルに快適にマッチするデザイン



木材の温もりが溢れるデザイン



個性的な空間を演出するデザイン

～ドラマ美術協力～

全国ネットで放映されたドラマに美術協力しました。カナエルをはじめ、当社の内装建材を幅広くご採用いただいています。



床材：カナエルC12・Jベース オークグレイージュ色 (G1)



収納：キャニティ カスタムシェルフ ミルキー色 (M7)



床材：Jクラレス 源平かば ミディアム色 (E6)
内装材：ウォールデコ チェリーミディアム色 (E2)

連結財務諸表(要旨)

会社概要・株式情報 (2024年5月31日現在)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第87期 第2四半期末 2024年5月31日現在	第86期 前期末 2023年11月30日現在
資産の部		
流動資産	46,731	48,801
固定資産	28,002	27,569
有形固定資産	16,710	16,119
無形固定資産	428	540
投資その他の資産	10,862	10,909
資産合計	74,733	76,371
負債の部		
流動負債	22,190	24,040
固定負債	9,948	8,290
負債合計	32,139	32,330
純資産の部		
株主資本	34,578	37,093
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	32,023	34,071
自己株式	△ 1,174	△ 706
その他の包括利益累計額	2,734	1,707
非支配株主持分	5,281	5,239
純資産合計	42,594	44,041
負債純資産合計	74,733	76,371

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第87期 第2四半期累計期間 2023年12月1日から 2024年5月31日まで	第86期 第2四半期累計期間 2022年12月1日から 2023年5月31日まで
売上高	32,962	35,314
売上原価	25,865	26,140
売上総利益	7,097	9,173
販売費及び一般管理費	6,436	6,594
営業利益	660	2,578
営業外収益	106	176
営業外費用	75	64
経常利益	692	2,691
特別利益	2	255
特別損失	80	290
税金等調整前四半期純利益	614	2,655
法人税、住民税及び事業税	415	678
法人税等調整額	1,662	△ 22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 1,463	1,999
非支配株主に帰属する四半期純利益	182	434
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 1,645	1,565

会社の概況

会社名 株式会社ノダ
本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
設立 1938年1月8日
資本金 21億4,100万円
従業員数 1,049名(連結1,789名)

役員

代表取締役社長	野田 励	取締役	渡邊 慎也
代表取締役専務	野田 二郎	社外取締役	塩坂 健
常務取締役	高津原健太郎	社外取締役	高井 章光
取締役	宮田 佳明	常勤監査役	長谷川倫源
取締役	良知 正啓	社外監査役	三浦 悟
取締役	新美 泰	監査役	上原 敏彦
取締役	天岸 知樹	社外監査役	春山 直輝
取締役	服部 裕仁		

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、新潟、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫四国(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

連結子会社

石巻合板工業株式会社	: 宮城県石巻市
アドン株式会社	: 静岡県静岡市
株式会社ナフィックス	: 東京都台東区
アイビーエムサービス株式会社	: 宮城県石巻市
PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社)	: インドネシア

持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD. (サンヤン社)
: マレーシア

株式の状況

発行済株式の総数 17,339千株 (自己株式1,683千株を含む)
株主数 4,742名



株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 2月
基準日 定時株主総会 11月30日
期末配当金 11月30日
中間配当金 5月31日
そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告掲載新聞 日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

- 証券会社等へ当社株式を預けたいしている場合
当社株式をお預けたいしている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。
- 証券会社等へ当社株式をお預けたいしていない場合(特別口座)
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先/電話お問合せ先)
〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取扱できません。

ホームページ、公式SNSのご案内

ノダの最新情報やお役立ち情報をご提供します
ノダ ホームページ
公式Facebook
公式Instagram

ホームページ : <https://www.noda-co.jp>
Facebook : <https://www.facebook.com/NODACorporation/>
Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/



環境保全のため、FSC® 認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。